

責任者
正任者
敏員名
集集
3
発行
谷集
石川
他編
古編
石編

SEOS便り

平成28年度 新事業年度の抱負

専務取締役 古谷 正実

社員の皆様！毎日の勤務お疲れ様です。新事業年度のスタートに当たり、私の抱負を述べさせていただきます。

本年の政治面は、5月に伊勢志摩サミット、7月に参議院選挙、11月にアメリカ大統領選挙がありますが、概ね安定し推移するものと思われまふ。しかし、経済面は、中国経済の減速、中東不安からくる原油価格の下落また円高株安など波乱含みになるかと予測されまふ。

さて、私達の業界は、深刻な人手不足、不毛な価格競争また最賃のアップや社会保険料の増加などで、大変厳しい年になるものと思いまふ。また企業間の合併も更に加速し、単純労働のロボット化が相まって、より企業間格差が鮮明になっていく年かも知れまふ。

このような環境下、当社は28年度も増収増益の事業計画を次の事項を基軸に策定致しまふ。

- 1、新規固定顧客の拡大
- 2、既存顧客の維持
- 3、幹部社員の教育
- 4、不採算部門の縮小
- 5、人材の確保です。

それに加え本年は、帝京大学板橋キャンパス警備が3月20日より実質的に開始されます。この案件は、AGSの最高契約先となります。この立上げを成功させるか否かは、将来の明暗を担うと言っても過言ではありません。事業計画を完遂するのも、帝京大学警備を軌道に乗せるのも、私を含めた740名の社員並びにパートの皆様全員が、少しでも良い会社にしよう！という気持次第なのです。

本年も、皆様と力を合わせて、会社も個人も大きく飛躍する年にしようではありませんか！御理解御協力を宜しくお願い致します。



常務取締役 石川 勝敏

新事業年度のスタートに当たり、所信を述べさせていただきます。

まず27年度の業績ですがGMCは、売上目標には僅か足りませんでした。営業利益目標は達成しました。一方、AGSは売上・利益いづれの目標も達成するという快挙を成し遂げただけでなく、5年前の借入金を完済することができました。ここに改めて感謝申し上げる次第です。

さて、新年度の指針ですが
AGSについては新年の挨拶でも申し述べた通り、
一、超大型物件・帝京大学板橋キャンパス警備業務を全社を挙げて軌道に乗せること
これは単なる一新規物件ではありません。今後のAGS全体の発展に大きく貢献する物件であると認識して下さい。

一、人材の補強と育成に全部門が取り組むこと
慢性的な人手不足は、今後も解消されることは期待できない環境が続くと思われまふ。職場環境の改善や円滑な意思を通じた定着率の向上及び募集広告だけに頼らず、知恵と工夫を凝らした人材確保に腐心して下さい。

続いてGMCについてですが近年は、好調な業績を維持してきましたが昨年は、不安要素が顕在化してきたと感じていまふ。全員が危機感を持つて次の項目に取り組んで下さい。

- 一、新規固定物件の受注に向けた情報収集と積極的な営業活動を実践すること
- 誰かがやってくれるという考えは捨て、自ら率先して実行するという雰囲気・風土を醸成することが必要です。
- 一、業務改善を果敢に推進すること

過去の例や習慣に捉われることなく、より早く・正確・効率的な方法や仕組みの創造が急務です。



取締役GMC事業本部長 白濱 実幸

平成28年、新事業年度が始まりました。昨年度は、長年続けてきた官公庁物件の閉館、民間固定物件の解約・減額が重なり苦戦を強いられ、売上は対目標でマイナス、営業利益はプラスという結果に終わりました。

本年度も大変厳しい状況下でのスタートになりますが、増収・増益を目標に進めて参ります。

新年度は持続的成長の基盤を構築する為に

- 一件でも多くの新規顧客の獲得
- 巡回強化で既存顧客との深耕拡大
- 管理監督者教育による後継者の育成
- 原価管理の徹底による財務基盤の確立
- 防災訓練による危機管理体制の強化

以上の五つを基軸に、事業計画は勿論、小規模組織単位で数値目標を達成して頂きたい。
一人ひとりの目標に対する執着心が、組織目標を達成できる唯一の方法です。

皆様方のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



AGS事業本部長 續 美明

昨年度は、厳しい環境下の中、板橋区安全安心パトロール警備の新規受注等もあり、増収増益で事業計画を達成出来ました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

本年も、増収増益に向け事業展開をしていきます。労働力不足等の厳しい状況の中、3月20日より新規受注の帝京大学板橋キャンパスの警備がスタートします。これを成功させるため、ビルサービス皆様の絶大なる御協力と御尽力をお願い申し上げます。



AGS事業副本部長兼常駐保安部長

寺本 憲生

平成27年度AGSは、新規物件板橋安心安全パトロールの落札により、売上及び営業利益ともに目標達成という最良の結果を出すことが出来ました。今事業年度もAGSは、新規大型物件の帝京大学板橋キャンパス常駐警備業務受注という最高のスタートが切れる年となりました。しかし、これも4月からの業務開始に向けた皆様のご協力なしには最良の結果は残せません。是非とも、ビルサービス全社員の今後のご協力をよろしくお願い致します。



経理部長 砂田 隆

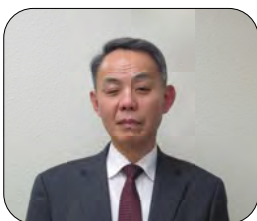
日本の経済は景気がいいと言われるが、アベノミクスの恩恵も、今一步という声が多く聞かれます。新事業年度のスタートにあたり、次の事を目標に致します。

経理部内の担当業務のローテーションの実施(個人レベルの能力アップ) 滞留売掛金を、金額・件数ともに前年度の一割減少を少数精鋭で推進して参ります。 「増収・増益の達成」の為に各部門及び支社の方々のご理解ご協力をお願い致します。



埼玉支社長 岩澤 利彦

27年度において、GMC埼玉は売上達成でしたが営業利益は大幅未達。AGS埼玉は売上未達でしたが営業利益は辛うじて達成という結果に終わっております。いずれにせよ新年度は固定契約獲得が急務です。議員等の人脈を活用しつつ、初心にかえり、『やる気・強気・根気』三気の精神で新規にアタックして参ります。



皆様からのお力添えを賜りたく宜しくお願い致します。

環境部長代理 斉藤 勝利

平成27年4月より環境部の部門長を拝命してから、1年が過ぎようとしております。平成27年度は、初めて経験する事も多々ありましたが、部員一同の努力により営業利益は達成する事が出来ました。売上においては、未達で終わってしまいましたが、これも偏に私の責任と痛感しております。

新年度に向けて各事業部が動き出している中で、AGSにおいては帝京大学の警備受注という明るい話題もあり、GMCとしても負けていけないとの思いも湧いております。28年度に向けて、新規固定の獲得と人材育成を進めつつ、更なるSEOS営業の拡大を図り、目標達成出来る様に部一同頑張っていく所存です。



施設部長代理 杉本 吉幸

平成27年度は、長期に亘り契約していた文京福祉センターが、建物老朽化により閉館又、業務方針転換によるマンション管理業務移管もあり、施設部は売上・利益共に未達成という大変厳しい年となりました。

平成28年度は 新規固定の獲得 既存顧客の維持 経費の削減 臨時案件の利益確保を目標としております。モチベーションを維持する環境づくり、目的・ゴールを決め効率化を図り事業計画達成に向け全力で取り組んで参ります。皆様のご協力を宜しくお願い致します。



横浜支社長代理 木村 文昭

平成27年度の横浜支社の業績は、GMCが目標に対し売上げ、営業利益共に達成致しましたが、AGSが残念ながら達成することが出来ませんでした。平成28年度につきましては、営業力の拡大と言う事で、新規ユーザーの開拓 既存ユーザーからの新たな物件の獲得 同ユーザーからの設備関連の臨時工事及び臨時警備の受注を進めてまいります。

又、次世代の人材の育成、資格取得を積極的に推進したいと思っております。



平成28年度 グループ共通経営指針 新たな革新と創造を目指して 波乱の幕開け 新たな挑戦

1. 目標に対する飽くなき達成意欲の醸成
2. 「環境変化によるコスト増」・「構造的人手不足」への対応
3. 技術・ノウハウの次世代への伝承で確かな世代交代
4. 法令順守の更なる徹底と想定外危機へ「心の準備」を